

■リグナンリッチ黒胡麻種子の栽培について

	冬～春	5月			6月			7月			8月			9月			10月
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
主な作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆圃場の選定</li> <li>◆耕起・排水対策</li> <li>◆堆肥散布</li> <li>◆酸度矯正（石灰等配布）</li> </ul>	梅雨前播種															
			梅雨明け播種														
作業場の留意点	<p>1. 圃場の準備</p> <p>①圃場の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日当たりと排水が良好な場所を選ぶこと。</li> </ul> <p>②耕起・排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕起を行い水はけを良くすること。</li> <li>・水はけが悪い場合は、畝を立てることが必要。畝間は、農機を入れる場合に必要幅を考慮して決め</li> </ul> <p>③堆肥散布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2t/10aを目安に散布（鶏糞など）。 ※地力を調査・考慮して決定</li> </ul> <p>④酸度矯正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胡麻は中性～微酸性土壌を好む。ph値が6～7より大きく振れる場合は、石灰散布により土壌改良を行うことが必要。</li> <li>・石灰は60～100kg/10aを目安に散布。 ※酸度を調査・考慮して決定</li> </ul> <p>⑤栽培温度と除草の手間を省く目的でマルチを張る方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチの色は黒が最適。（透明・グリーンは除草効果が無く不可）</li> </ul>								<p>②播種の深さ・覆土の量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穴の深さは1mm～5mm程度で十分。</li> <li>・種を蒔いた後は、1～3cm軽く土をかぶせる。覆土が多すぎると発芽率が悪くなるため注意が必要。</li> </ul> <p>③播種の量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1穴におおむね2～5粒程度（種子量にして4～10mg）が基本。</li> <li>・播種後は、水圧をかけないようにしっかりと水まきを行うこと。</li> <li>・播種後、適度に雨量があることが望ましいが、大量の雨が降ると種が流れてしまうため、大雨や台風に対する備えも重要。</li> </ul> <p>④播種の道具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ったまま播種できる簡易種まき機や手押し種まき機のほか、シーダーなどの道具の活用により、効率的に播種を行うことが望ましい。</li> </ul> <p>3. 除草・防虫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除草剤や防虫剤、殺虫剤等の農薬は一切使用しないこと。</li> <li>・除草は、栽培の前半を中心に、雑草の繁茂状況に応じて適宜行うことが必要。</li> </ul> <p>4. 間引き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも間引きは必要ないものの、10～20cmに成長した段階で、極端に近接し成長に支障が想定される場合は、適宜に間引きを行う。</li> </ul> <p>5. 収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さが70～90cmに成長した段階で収穫を行う。</li> <li>・刈り取りは、鎌やピーバー、バインダ等を用いて行う。</li> <li>・刈り取り後は、所定のコンテナに入れたうえで、速やかにトラックに積み込み、一次加工場へ送る。</li> </ul> <p>6. 播種から収穫までの栽培期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リグナンリッチ黒胡麻の栽培期間は、通常種の1.5倍程度で、播種後2.5～3カ月程度で収穫を迎える</li> </ul> <p>※この手引きは、和田萬、わだまんサイエンス、および胡麻生産者団体からの情報をもとに、(社)日本幸加齢フォーラムがおおよその目安として作成したもので、栽培地の特徴やその年の気候に合わせて柔軟に対応していただくことを前提としております。2016年作成</p>								
	<p>2. 播種</p> <p>①播種の畝間、筋間、株間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播種方法は、その後の作業を考慮して、条播が望ましい。</li> <li>・収穫時に手刈りの場合は二条もしくは三条播きで行うと効率的。</li> <li>・リグナン胡麻の場合は縦の成長と共に、葉が横方向へ大きく広がる特徴があり、筋や株の間隔を通常の胡麻より多少長めに取ることが望ましい。</li> <li>・畝間や筋間を詰めすぎると、除草や農機作業が難しくなるため、幅50～70cmを目安に、栽培当初の除草作業のし易さや、農機を入れる場合に必要幅を考慮して決めることが必要。</li> <li>・株間は、畝立ての場合もそうでない場合も、20～30cmでの播種が望ましい。</li> <li>・直播をせずプラグに播種を行い、ビニールハウス内で20センチ程度まで栽培をして、畑に植え替える場合も、株間は上記同様に20～30cmでの移植が望ましい。</li> </ul>																